

大会規則

- コ ー ト** コートサイズは横14m ×縦20m(ゴールラインからゴールライン)、インゴール(ゴールラインからデッドボールライン)は各5mずつとする。
- なお、コートにより、上記サイズは主催者の判断で、増減することがある。
- 用 具** (1)大会期間中に使用するボール、ビブスは主催者で用意したものを使用する。
- タグ・ベルトは各チームで準備したものを使用する。
- ボールは4号球を使用し、空気圧は0.5～0.6kg/平方センチメートル
- タグは日本協会規定サイズ(50mm×375mm)を推奨する
- チ ー ム** (1)競技コート内にいる5名のプレーヤーと入替可能な2名以上3名以下のプレーヤーから成り、最大8名チーム構成とすること。原則として、エントリー時の登録のまま大会に出場すること。
- ・コーチは各試合において、登録選手を必ず全員出場させること。
 - ・負傷、疾病が続き、出場可能なプレーヤーが5名以下になった場合、公式試合は行えない。
- (2)試合開始時、試合に必要なプレーヤー及び帯同コーチが揃わない場合、相手チームの不戦勝とする。
- (3)帯同コーチは成人2名とする(そのうち1名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること)。
- ★コーチは試合中に次のことができる。
- 1.負傷者の救助等でレフリーの指示があった場合に競技コート内に入ること。
 - 2.コートサイドの主催者が指定する位置で、チームプレーヤーへの教育的かつ建設的助言を行うこと。
 - 3.コートサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの入れ替えに関する管理を行うこと。
 - 4.ハーフタイムに競技コート内に入り、プレーヤーに給水をする事。
 - 5.コートサイドの主催者が指定する位置でプレーヤーの健康、安全管理を行うこと。
- (4)帯同コーチは大会期間中の選手、自チーム応援者の言動について一切の責任を負う。これができない場合、警告以上の処分が与えられる。
- (5)レフリー、アシスタントレフリー、サブコントローラーはチーム、帯同コーチ、観客の言動が悪質な妨害行為にあたるかと判断した場合、大会役員に報告し、警告以上の処分を科すことができる。

大会規則

服 装

(1) プレーヤーの服装については以下の通りとする。

・チームで統一(スパッツなども含む)された、運動に適した服装(学校体操着など)運動靴またはトレーニングシューズ。

(2) プレーヤーは以下のものを着用することができる。

・髪留め(ゴム製)

・めがね(試合中に脱落しないよう、固定すること。万が一の接触に備えて、強化プラスチック製のものを着用することが望ましい)

(3) 以下の物については着用を認めない。

・手袋(タグの色と紛らわしいため。また、着用の有無による利益不利益をなくすため)

・ギブス等医療装具(着用しないとプレーできない場合は出場させるべきではないから)

・その他、タグラグビーをプレーする上で必要ない物は不可とする。

入 れ 替 え

(1) 入替は以下の時に何度でも可。

1. ポイント(トライ)後

2. ハーフタイム開始時

3. 負傷でゲームが中断した時

(2) 入替は帯同コーチがサブコントローラーに申し出、レフリーが承認して成立する。入れ替えが行われている間、試合は再開しない(時間は継続)。入れ替えを行うチームは速やかに実施できるよう準備する。

(3) 負傷により退場したプレーヤーがその試合に戻ることはできるが、出血している状態に戻ることはできない。

競 技 時 間

競技時間は【前半 5分】 - 【ハーフタイム 1分】 - 【後半 5分】とする。

※延長戦については決勝トーナメントのみ該当するものとし、主催者とマッチオフィシャルの協議のもと決定する。

大会規則

レ フ リ ー

(1) マッチオフィシャルは4名もしくは3名(レフリー1名 アシスタントレフリー1名もしくは2名、サブコントローラー1名)とする。

(2) レフリー、アシスタントレフリー、サブコントローラーについては、主催者が指名する。

※アシスタントレフリーは、基本帯同レフリーが対応するものとする。

(3) アシスタントレフリーが1名の場合、レフリーは可能な限りグラウンドタッチライン際より判定を行う。また、レフリーの服装はプレーヤーに準ずる。

(4) アシスタントレフリーはタッチライン沿いで以下を行う。

- ① レフリーの判定の補佐。
- ② 選手の入替の補佐。
- ③ 負傷者のための試合停止の要請。
- ④ 帯同コーチ・観客の悪質な妨害行為のレフリーへの報告。

(5) サブコントローラーはグラウンドサイド、ハーフウェイラインに位置し、以下を行う。

- ① 選手の入替の管理(全員出場の確認を含む)
- ② 得点の確認
- ③ チーム、帯同コーチ、観客の悪質な妨害行為に対する警告並びにレフリーへ妨害行為を行ったチーム、帯同コーチ、観客を報告する。

(6) レフリーはその試合における唯一の事実の判定者であり、レフリーに対して抗議することは認められない。

(7) レフリーは以下の場合に試合を停止することができる。

- ① プレーヤーが負傷し起きあがれない場合。マッチドクターからの要請による場合も同様とする。
- ② プレーヤー、帯同コーチ、観客に注意を与える場合。

レフリーが、以上の理由で試合を停止した場合、再開は停止を命じた時点でボールを保持していた側のフリーパスとする

(タグの回数は継続)。競技時間を停止する場合、レフリーは明確な方法で試合時間の管理者に伝達する。